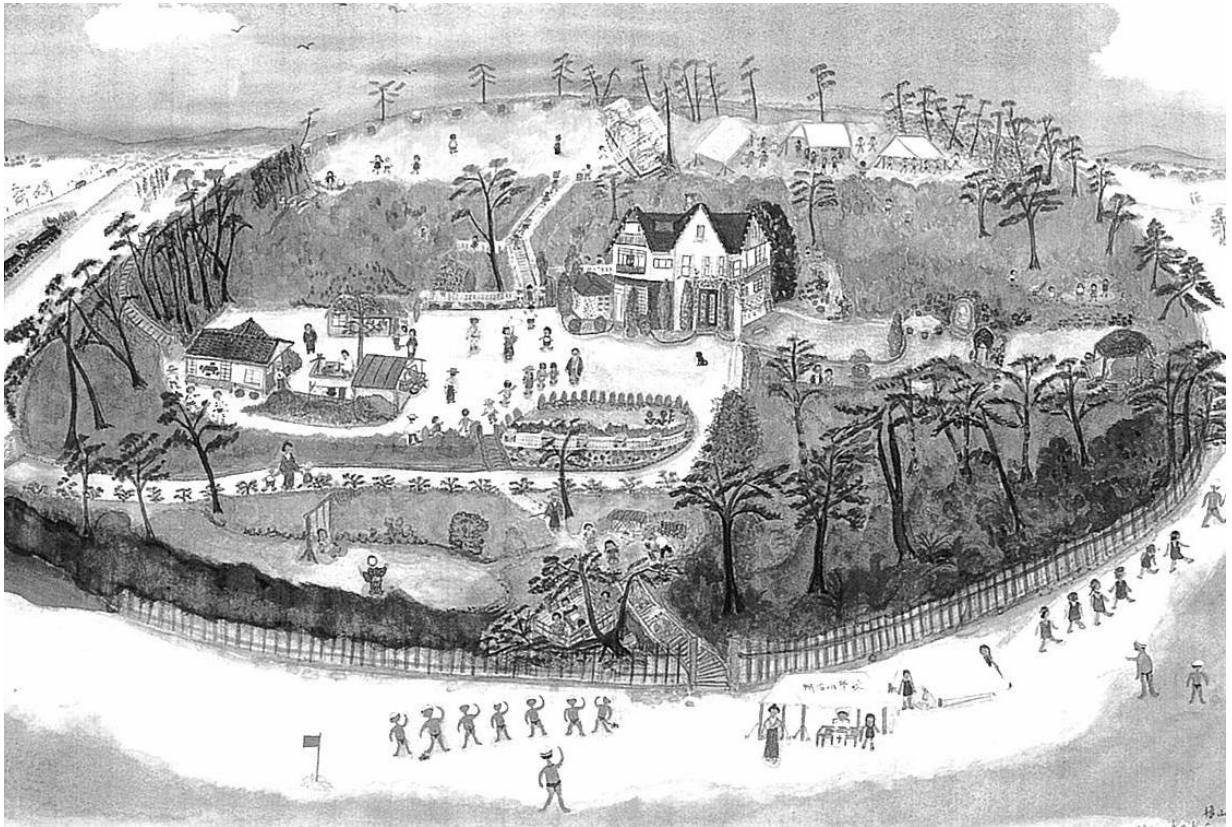


ろざんそう 第13回 櫓山荘子ども俳句大会表彰式

櫓山荘公園には、櫓山荘という洋風の建物が建っていました。大正9(1920)年に小倉に住んだ実業家橋本豊次郎が建築したものです。当時の俳句界の中心人物であった高濱虚子を招いて櫓山荘で俳句の会が開かれました。小倉の俳人杉田久女も出席しており、その会で豊次郎の妻橋本多佳子は、俳句のすばらしさを知ることになります。後に、この二人は、俳句の世界において大きな業績を残し、近代女性俳句の源流と評価されています。

櫓山荘はなくなりましたが、櫓山荘で出会い、俳句の世界に大きな足跡を残した杉田久女、橋本多佳子を記念して「櫓山荘跡」の碑が、平成15年秋に建設されました。櫓山荘やそこにまつわる文化や歴史を知ってほしいとの思いから、平成17年から始めたのが、櫓山荘子ども俳句大会です。



昭和初期の櫓山荘

原画 東郷啓子氏 (俳人 橋本多佳子の三女)

日時：平成29年11月11日 (土)
会場：生涯学習総合センター

表彰式次第

- 1 アトラクション 朗読 演劇作業室「紅生姜」 山口恭子
- 2 主催者あいさつ 櫓山荘子ども俳句大会実行委員会
会長 石川 一步 (北九州俳句協会会長)
- 3 来賓あいさつ 北九州市長 北橋 健治
- 4 表彰状授与
- 5 記念撮影
- 6 選評 福岡県俳句協会会長 岸原 清行

特別賞

大賞

亡き祖父のはしを並べる盆の夜

富野小学校 6年 宮本 涼眺

北九州俳句協会会長賞

夏の海遠くに見えるはおきのしま

岡垣中学校 1年 占部 裕太郎

文学館館長賞

ヒガンバナ真っ赤にそまっておどってる

井堀小学校 6年 田原 真緒

小倉北区長賞

炎天下必死にボールを追った夏

白銀中学校 3年 奥村 萌

教育委員会賞

努力した部活の汗は宝物

大谷中学校 1年 吉村 孝太

小倉北区自治総連合会会長賞

ひさびさに祖母の笑顔に会った盆

思永中学校 2年 加藤 大

杉田久女賞

はなやかな浴衣でとぶはあげはちょう

長尾小学校 5年 高井 心温

橋本多佳子賞

激流に飛び込んで行く鮎の群れ

曾根中学校 1年 安田 智宏

公益財団法人芳賀文化財団賞

甲子園汗と涙とつちまみれ

沼中学校 3年 木葉 伶那

西日本新聞社賞

今年の夏政治も天気も荒れている

門司中学校 3年 河邊 颯桜

学校賞

小学校の部
中学校の部

北九州市立沼小学校
北九州市立思永中学校

石川 一步 選

すずしげに私をまねく夏木立	長尾小学校	5年	松井 紫保
さくらんぼ二人でずっといっしょだね	沼小学校	6年	江口 莉子
夏の夜蛍が川でおどってる	沼小学校	6年	正野 菜央
どっしりと緑の山が目の前に	黒崎中央小学校	6年	福田 日香里
海面にうつった白い入道雲	黒崎中央小学校	6年	深川 美優
せみの声静かな森の鼓笛隊	戸切小学校	6年	田中 竣士
街中で日傘の花があふれてる	思永中学校	1年	福田 玲香
紫陽花がシャワーをあびて笑ってる	思永中学校	1年	新川 心菜
努力してできた日焼けはかっこいい	思永中学校	2年	上田 姫依
青空に入道雲が騒いでる	篠崎中学校	1年	城田 陸
見る者の心を灯す蛍かな	香月中学校	2年	日吉 諒風
灯籠に祖父との思い出浮かぶ夜	引野中学校	3年	伊藤 康晟

岸原 清行 選

絵手紙のひまわり元気友思う	清水小学校	3年	井出 万尋
夏みかんむくとあふれるいいかおり	黒崎中央小学校	6年	開田 結子
せみの声命をつなぐラブソング	ひびきの小学校	5年	武川 和叶
初夏のしずむ夕日と水平線	内浦小学校	6年	奥本 友樹
ねむの花みんなの笑顔風にのり	海老津小学校	6年	樋口 心絆
初盆で祖母の思い出よみがえる	山田小学校	6年	北田 圭吾
飛ぶ鳥も落ちてきそうな暑さだな	思永中学校	3年	尾石 さくら
燕の子今年も元気に巣立ちゆく	篠崎中学校	3年	川原 佑璃花
部活動みんなの声とせみの声	白銀中学校	1年	瀧川 亜美
庭に咲く紫陽花たちは百面相	香月中学校	2年	石橋 茉綺
せみしぐれ涙涙の引退試合	熊西中学校	2年	益吉 未来音
伝統を肩に感じる戸畑祇園	大谷中学校	1年	池田 優翔

坂井 愛子 選

七色にかいきょうかざる夏花火	富野小学校	5年	久間 大輔
海水浴どこまでも続く水平線	曾根東小学校	5年	前田 大輝
ほたるがねおしりでわたすメッセージ	沼小学校	6年	楠 太惺
紫陽花について水滴宝石箱	花房小学校	6年	矢富 彩夏
まきがいに耳をすませばうみのおと	吉木小学校	5年	伊藤 花乃音
体育館飛びちる汗にすべる床	思永中学校	1年	中村 ひかる
おそいくるプールの後の睡魔たち	思永中学校	3年	杉山 大輔
思い出の分だけ濃くなる日焼けかな	篠崎中学校	3年	伊藤 夏希
五月雨をかきけす薬師の僧の声	白銀中学校	3年	鶴崎 遥
夕焼けの父の背中のおたくましさ	広徳中学校	3年	元田 楓
軍手から新たまねぎと土のにおい	本城中学校	2年	吉田 和香
すぐに散る線香花火と夏の恋	大谷中学校	2年	石迫 和也

応募していただいた学校

【門司区】門司中学校
【小倉北区】井堀小学校、北小倉小学校、清水小学校、富野小学校
思永中学校、篠崎中学校、白銀中学校、富野中学校
【小倉南区】曾根東小学校、田原小学校、長尾小学校、沼小学校
広徳中学校、曾根中学校、沼中学校
【若松区】花房小学校、ひびきの小学校、高須中学校
【八幡西区】黒崎中央小学校、香月中学校、熊西中学校、黒崎中学校、引野中学校、本城中学校
【戸畑区】大谷中学校
【岡垣町】内浦小学校、海老津小学校、戸切小学校、山田小学校、吉木小学校、
岡垣中学校、岡垣東中学校

今回、小学校16校、中学校17校の3, 113名の児童生徒の皆さんから応募をいただきました。
どうもありがとうございました。

ろざんそう ひさじよ たかこ 櫓山荘と杉田久女、橋本多佳子



久女の句

餅こぼまして山ほととぎすほしいまま（日本新名勝俳句金賞句）
花衣はなころもぬぐまつや纏むすわるひち紐いろいろ

●杉田久女

明治23（1890）年～昭和21（1946）年
お茶の水高等女学校卒業後、明治42年
旧制小倉中学（現小倉高校）の図画教諭
杉田宇内の妻として移り住む。大正5年
兄の手ほどきで句作を始め、昭和6年には
日本新名勝俳句で全国10万余句の中か
ら金賞を射止める天性の才能を発揮した。

多佳子の句

乳母うばぐるま車夏の怒涛どとうによこむきに
いなびかり北よりすれば北を見る

●橋本多佳子

明治32（1899）年～昭和38（1963）年
大正6年橋本豊次郎と結婚、大正9年櫓山
荘を新築し小倉に移り住む。杉田久女に俳
句の手ほどきを受け、「ホトトギス」に投句。
昭和4年に大阪に移り、山口誓子に師事し
「馬酔木」同人となる。昭和25年「七曜」
主宰となる。

主催：櫓山荘子ども俳句大会実行委員会

北九州俳句協会 北九州市立文学館
北九州市教育委員会 北小倉校区自治連合会
久女・多佳子の会 小倉北区役所総務企画課

協力：岡垣町教育委員会

公益財団法人芳賀文化財団

後援：西日本新聞社